



油圧式から電動式まで、その大きさもマイクロ機械にも相当する超小型機から締め付け力2000～3000トンの超大型機まで、射出成形機はまさに多種多様なものが提供されています。そこで今回の表紙では、その先端的射出成形機の例として、2点の射出成形機を大小比較しながら紹介しました。まず小型機の例として(株)新興セルビック社の「モバイルホーム」を取り上げました。ご覧の通り、ゴルフボール大の成形機で、2005年の第1回ものづくり大賞を受賞しました。廃材ゼロ、省エネ、省スペース、家庭用電源でも使用可能。工業用途としても、自動車・電機・精密産業でも導入が進んでいます。もうひとつの大型機。こちらは型盤回転式では初の電動式で、材質が異なる2種類の樹脂を一体成形可能、締め付け力は3000トン、サイズも15.7(L)×4.8(w)×4.0(H)mという、三菱重工業プラスチック(株)の超大型電動射出成形機「3000em-470」で、自動車部品分野での導入を目指して開発され、油圧式に比べて不良率が低く、環境にもやさしい2008年開発の最新鋭機です。

このように、射出成形機はものづくりの中心機械のひとつとして、高度化のなかにも、使いやすさ、環境への配慮など、時代、時代に合わせて革新的進化・開発が続いており、今後とも大いに注目していきたいものです。

### ●IMSセンターについてのお問い合わせ先

入会に関するお問い合わせ：総務部 (imspc@mstc.or.jp)  
 研究内容に関するお問い合わせ：研究開発部 鈴木 (suzuki-kazunori@mstc.or.jp)  
 イベント関連についてのお問い合わせ：業務部 三輪 (miwa@mstc.or.jp)  
 国際事務局についてのお問い合わせ：研究開発部 水野 (mizuno@mstc.or.jp)



### 財団法人 製造科学技術センター IMSセンター

〒105-0001  
 東京都港区虎ノ門三丁目11番15号  
 SVAX TTビル3階  
 TEL.03-5733-3331  
 FAX.03-5401-0310

#### URL

<http://www.ims.mstc.or.jp/>

#### e-mail

imspc@mstc.or.jp

発行人 瀬戸屋 英雄  
 発行日 2009年1月30日

### 調査広報委員会

委員長 荒井 栄司 (大阪大学)  
 広報WG  
 主査 谷岡 雄一 (清水建設(株))  
 委員 小谷内 範穂 (産業技術総合研究所)  
 // 日比野 浩典 (機械振興協会技術研究所)  
 // 青山 英樹 (慶応義塾大学)  
 // 山崎 和雄 (日刊工業新聞社)  
 事務局 三輪 哲男 (業務部 部長)  
 // 飯森 和美 (業務部)

